

福島県青少年会館 事業実施状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

青少年会館の運営にあたっては、さまざまな社会環境の変化を踏まえながら、青少年の健全育成活動を推進し、心身ともに明るく活力ある健康な青少年の育成に寄与するよう努めました。

特に、平成28年度は、青少年活動の拠点施設として、当館入居団体やボランティア活動を推進する団体などとの連携のもとに情報の共有化を図り、様々な問題を抱える子どもたちやその保護者、若者などを応援する取組みを推進し、広く県民に青少年健全育成に対する理解が深まるよう努めました。

また、少子化対策と子育て支援の観点から、福島県からの受託事業である「ふくしま結婚・子育て応援センター事業」を充実させ、結婚から子育てまでの様々なサポート拠点として、若者や子育て世代に適切なサービス提供に努めてまいりました。

さらに、財政基盤の強化と経営の安定化に向けて、青少年の利用をはじめとする施設の利用促進を図るとともに、施設利用の効率化と利用者の満足度の向上のため、親身で心のこもった「あったかサービス実践運動」を展開いたしました。

1. 青少年会館管理運営事業

(1) 施設利用の促進

青少年活動のための活動拠点として機能を発揮するため、青少年団体をはじめ学校、文化・スポーツ団体、一般団体を対象に利用促進を働きかけました。

また、「青少年の低額利用料金を支える一般利用料金」の考えのもとに、一般の方にも広く利用を働きかけるとともに、青少年や小中学生の利用促進についても力を注いでまいりました。

その結果、青少年や小中学生の宿泊利用では、前年度実績を上回ることができました。

さらには、杉妻学習センターをはじめ、近隣の施設や事業所との連携を深め、協力体制を築きながら利用促進を図りました。

なお、会館の地域性、公益性を考慮して福島県立医科大学附属病院の利用者や子育てファミリーに対する宿泊割引制度を実施しました。

(2) 業務の見直しによる経費の節減等

サービスの維持・向上に配慮しながら、業務全般について見直しを行い、経費の節減に努めました。

特に、施設設備保守管理等の委託業務については、前年度同様、可能な限り職員で対応することを前提に業務内容を見直して経費の節減を図りました。

(3) 施設設備の維持補修

施設の現況把握と改修財源の計画的確保に努めるとともに、利用者の安心・安全を確保することを優先に、施設の改修を計画的に実施しました。

(4) 経営計画の実行について

当館に求められる新たな役割及び経営の安定化といった観点から、平成25年度から実施している経営計画に基づき施設を運営しました。

2. 講演会・研究集会事業

(1) 青少年健全育成セミナー

青少年を取り巻く社会・環境の変化、大震災が子どもたちに大きな影響を与えている状況を踏まえ、子どもの自立を支えながら社会への参画を促していかなければならない親の心構えなどについて考えるためのセミナーを福島県青少年育成県民会議と共催で開催しました。

事業名	青少年健全育成セミナー（大人が変わるためのセミナー） 『思春期から青年期』の親の心構え
対象者	① 青少年育成に関心のある方や現在子育てにあたっている方 ② P T A、地域団体、地域活動連絡協議会及び青少年育成団体の指導者など
主な内容	第1回 日時 平成28年 6月18日（土） テーマ 「発達障がいのある子どもを通してみた思春期や青年期の子どもを持つ親のかかわり方」 会場 福島県青少年会館 講師 福島市立福島養護学校長 山崎壽克 氏 出席者 48名 第2回 日時 平成28年 7月23日（土） テーマ 「地域で子どもたちをどう育てるか」 会場 福島県青少年会館 パネリスト 大玉村教育委員会教育長 佐藤吉郎 氏 昭和タクシー代表取締役社長 安斎文彦 氏 コーディネーター 福島大学名誉教授 境野健兒 氏 出席者 49名 第3回 日時 平成28年10月22日（土） テーマ 「子どもの生活習慣と家庭教育～楽しい子育て～」

	会 場 えぽか（本宮市民元気いきいき応援プラザ） 講 師 元本宮市立本宮第一中学校 大人への応援講座講師 小澤悌一 氏 出席者 31名 第4回 日 時 平成29年 2月18日（土） テーマ 「少年のスポーツ指導法について」 会 場 福島県青少年会館 講 師 福島大学トラッククラブ 二瓶秀子 氏 出席者 27名
--	---

（2）福島県青少年育成県民会議結成50周年支援事業

福島県青少年育成県民会議が結成50周年を記念して11月22日に開催予定であった催事が、実施当日に発生した地震とその後の津波警報発令により中止されたことから、当該支援事業も中止することになりました。

3. 情報収集、提供事業

（1）ホームページの利活用と促進

県内の青少年団体をはじめ、広く一般県民に青少年の社会参加活動や青少年活動に関する各種の情報を提供するとともに、当館の利用促進の一助とするため、ホームページを一新し、より新鮮な情報の提供と関係機関や団体との連携を密にしてタイムリーな情報提供に努めました。

事業名	ホームページ利活用促進事業
主な内容	①ホームページの適切な管理 ②事業内容の適時、適切な公表 ③青少年活動の公表 ④青少年会館の施設利用状況の案内

（2）青少年情報ステーション事業

青少年に関するイベント情報や有益な各種情報、また、子ども・若者支援に関する各種の情報など、広く一般に周知を図るためのチラシやポスターなどを収集し、それらを専用スペースに設置、掲示して情報の発信を行ってまいりました。

事業名	青少年情報ステーション事業
-----	---------------

主 な 内 容	①青少年に関する各種情報や資料の収集 ②資料の展示や掲示 ③各種団体及び市町村との連携 など
------------	--

(3) 青少年の城 ふくしま事業

青少年が自ら活動している団体や青少年の健全育成を実践している団体の日頃の活動の発表の機会として、中・高校生などの絵画や書道、デザインなどの作品等を掲示するため、期間を定めて、当館のロビーや研修室など無償で提供しました。

事 業 名	青少年の城 ふくしま事業
主 な 内 容	ロビーや研修室、体育館などでの作品の展示などを行いました。 出展団体 2団体

(4) 各種活動の企画及び指導者等紹介あっせん事業

各団体が開催する地域活動、青少年の育成活動、レクリエーション活動の支援として、関係機関や団体と連携して企画のノウハウの提供、講師や指導者の紹介、あっせんなどを行いました。

- ・「大人への応援講座」講師の紹介
- ・各種レクリエーション活動の指導者の紹介
- ・青少年関係相談窓口の紹介 など

4. 青少年健全育成事業

(1) ふれあい キッズ・プログラム

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、特に大震災、原発問題を抱える福島の子どもたちに対して、心の不安を解消し、地域・家族の絆を取り戻すため、子どもと保護者が一緒になって楽しみ、交流を深める場として「ふれあい キッズ・プログラム」を開催しました。

実施に当たっては、福島大学児童文化研究会をはじめ、福島県青少年育成県民会議のほか趣旨に賛同する機関や団体などと連携し体験型イベントを取り入れました。

事 業 名	ふれあい キッズ・プログラム
対 象 者	子どもとその保護者や家族、各種青少年団体の関係者
主 な 内 容	〈フェスティバルプログラム〉 日時 平成28年10月23日(日) 10:00～15:00 会場 福島県青少年会館

	<p>参加者 2,000名</p> <p>内容 各種の体験コーナーを屋内、屋外で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸教室 (会津本郷焼 宗像窯9代目 宗像利訓) ・ミニオリンピック (ガールスカウト福島県連盟) ・わくわくひろば (福島大学児童文化研究会) ・わくわくスカウト技能体験 (ボーイスカウト福島連盟) ・変身ハロウィンパーティー (福島南子ども劇場) ・室内ゲームコーナー (福島県レクリエーション協会) ・アートコーナー (福島大学美術研究会) <ul style="list-style-type: none"> ・レスキュー隊出動。体験活動の楽しさを知ろう (福島県青少年団体連絡協議会) ・バルーンアート (みちげ) ・ミニSLに乗車しよう (信夫の杜鉄道)
--	--

(2) 学生キャラバン活動助成事業

青少年の健全育成活動の一助として、子どもたちに夢と希望を与えるプログラムを展開している福島大学児童文化研究会の出張キャラバン公演の活動を支援いたしました。

事業名	キャラバン公演活動支援事業
対象者	幼児や保護者など
主な内容	県南地区・会津地区・いわき地区など 計8回実施 参加人数 延べ440名 内容 「影絵」、「人形劇」、「リズム」、「童話」など

(3) よろず寺子屋相談事業 (子どものためのオーダーカウンセリング事業)

夏休みの子どもの学習や課題の疑問点に取り組む学習支援事業と発達障がい、学習方法の悩み、いじめや不登校、ひきこもりの問題などについて、保護者を対象に専門的な有識者による相談事業を実施しました。併せて、福島県レクリエーション協会と連携し、室内ゲームコーナーも開設しました。

事業名	よろず寺子屋相談事業 (子どものためのオーダーカウンセリング事業)
対象者	青少年及びその保護者など

主 な 内 容	<よろず相談、学習支援、室内ゲームコーナー>
	期 日 平成28年 7月30日(土)
	<オーダーカウンセリング>
	期 日 平成28年 8月 5日(金)～ 7日(日)
	平成28年 8月19日(金)～21日(日)
件 数	よろず相談 5件
	オーダーカウンセリング 4件
	学習及びレクリエーション参加者 39件

(4) 青少年健全育成助成事業

青少年の健全育成を目的に青少年を対象として行う事業のうち、青少年会館を拠点として、宿泊体験や社会体験活動、自然体験活動などのプログラムを展開する団体を公募し、活動経費の一部を助成いたしました。

事 業 名	青少年健全育成助成事業
対 象 団 体	ガールスカウト福島県連盟、永井川子ども会育成会、福島県PTA連合会、大森ミニバスケットボールスポーツ少年団、金谷川ミニバスケットボールスポーツ少年団
主 な 内 容	青少年団体が行う各種体験活動には10万円を限度に、青少年指導者等の研修会やセミナーには5万円を限度に助成金を交付 交付団体 5団体 助成金総額250,000円

(5) 福島っ子ガンバレ・レクリエーション普及事業

震災と原発事故により体力低下や体験不足が懸念される福島っ子に『元気と笑顔』を届けるため、子どもたちの体力づくりと世代間交流の機会を提供し、レクリエーション活動の普及と推進を図りました。

事 業 名	福島っ子ガンバレ・レクリエーション普及事業
期 日	第1回 平成29年 3月 4日(土)
	第2回 平成29年 3月 5日(日)
対 象 者	小学生から保護者など

主 な 内 容	第1回 チャレンジ・ザ・ゲーム全国ランキング記録会 参加者 32名 内 容 幅広い年齢層の参加者が、技術や体力、勝敗を競うのではなく、グループでの交流を楽しみ、協力しながら記録に挑戦しました。
	第2回 マンカラ交流選手権大会 参加者 60名 内 容 小中学生の部と一般の部に分かれ、ボードゲーム「マンカラ」のベーシック部門とカラハ部門によるトーナメント戦を行いました。

(6) すぎのめこども宿

地域の子どもたちが、青少年会館に寝泊まりしながら、地域ぐるみの子育て、日常生活における共同作業の重要性について地域ぐるみで考える事業を実施しました。

事 業 名	すぎのめこども宿
主 催	福島県青少年会館 福島市杉妻学習センター 福島市杉妻地区青少年健全育成推進会
対 象 者	杉妻小学校 5～6年生
期 日	平成28年7月21日～23日 (2泊3日)
会 場	福島県青少年会館、福島市杉妻学習センター
参 加 者	小学生5～6年生 22名 (男子10名、女子12名)
主 な 内 容	食事の準備や洗濯、清掃などの基本生活の実践や、参加児童が自主的に学習などを行いながら、いろいろな体験活動を行いました。 また、男女共同参画に関する基本的な理解と興味を深めるためのプログラムも行いました。

(7) 若者交流支援事業

県内大学の学生及び首都圏の学生等が、都会にはない福島県の魅力をPRするための方策を、ワークショップを開催することにより検討し、東京で開催されたイベント会場で発表しました。

また、被災者を勇気付けるためのメッセージボードを作成する等の事業を実施いたしました。

事 業 名	若者交流支援事業
対 象 者	県内外学生、一般県民

主 な 内 容	ワークショップ及びフィールドワークの実施		
	5回実施	延べ参加学生数	121人
		交流数	90人
	福島フェス2016でのブース出展・ステージ発表		
	平成28年10月15日～16日		
	開催場所	東京都	
		参加学生数	26人
		交流数	400人
	メッセージボードの作成・贈呈（飯舘村仮設住宅）		
	作成	平成28年9月28日～10月14日	
贈呈	平成28年11月9日		
	参加学生数	11人	
	交流数	132人	

(8) 関係団体連携強化事業

当会館を利用して研修や合宿を実施する団体のプログラムが効果的・効率的に運営できるようサポート、援助するとともに、入居している青少年育成団体の活動が一層促進されるよう側面から支援しました。

① 研修・合宿の青少年団体

利用者のニーズに合わせた施設の確保・設備の予約など行い研修を円滑に進めることができるように協力しました。

② 福島県青少年団体連絡協議会

当会館の建設運動の母体となった福島県青少年団体連絡協議会は、福島県内に組織を有する各種青少年団体の連合組織であり、これからの青少年活動を展開する上で、中心的な団体であることから、連携を深めながら青少年活動を推進しました。

また、当協議会加盟団体のミーティングなどには、当館研修室を開放するなどの支援をしました。

③ 福島県青少年育成県民会議

県内の青少年育成推進の中核をなす「福島県青少年育成県民会議」との連携を一層強化し、青少年健全育成活動の充実を図りました。

特に、「青少年健全育成セミナー」などの事業を共同開催し、同県民会議のネットワークを活用した青少年育成活動の実施、各地域への情報提供などを連携して進めました。

また、同県民会議に対しては、一体となって活動するための人的支援や当会館使

用料の減免等財政的支援も行いました。

④ 入居団体等の各種青少年関連団体

当会館の入居団体（ボーイスカウト福島連盟、ガールスカウト福島県支部、福島県PTA連合会、福島県高等学校PTA連合会、NPO法人福島県レクリエーション協会）をはじめ、各種青少年団体やNPO法人、教育関係団体が実施する青少年育成事業に対して、積極的に共催や後援を行うとともに、事業の参加者募集、活動紹介、活動報告等について支援してまいりました。

5. 子育て支援事業

(1) 子育て支援パスポート事業（ファミ割）

県内の子育て世代のファミリーが、当館に宿泊する際「ファミたんカード」を提示することにより、宿泊料金の優遇措置を受けることができる制度を導入し。子育て支援の一助となるよう「子育てファミリー支援事業」を行いました。

事業名	子育て支援ファミリー事業
対象者	子どもと同伴で宿泊する保護者で、ファミたんカードを提示した人
主な内容	ファミたんカードの提示により通常大人の宿泊料4,104円を青少年料金を適用し、2,592円とする。(1,512円の割引) ※他県の同様のカードも適用することとする。 宿泊料割引適用者 12名

(2) 子育てサロン等支援事業

子育て中のファミリーを支援する団体の活動を側面から支援し、活動が効果的に展開出来るように、子育てサロン等支援事業を実施いたしました。

事業名	子育てファミリー支援事業（子育てサロン等支援事業）	
対象者	子育て中の保護者等	
主な内容	助産師のいる子育てサロン	12回開催
	参加数	194組
	ママと赤ちゃんのリフレッシュ体操	11回開催
	参加数	135組
子育て応援広場		8回開催
	参加者数	111人参加

6. ふくしま結婚・子育て応援センター運営事業

結婚を望む人が結婚でき、誰もが安心して子どもを産み育てることのできる環境を整備するため、福島県からの委託を受け、ふくしま結婚・子育て応援センターを運営し、結婚から子育てまでを応援する各種事業を実施いたしました。

(1) 相談業務

「妊娠・出産」、「子育て」、「結婚」相談を、電話・面談・メールにより直接相談に応じたほか、必要に応じて関係専門機関と連携を図りながら対応いたしました。

事業名	結婚、妊娠・出産、子育て相談		
対象者	一般県民		
主な内容	相談日	結婚分野	金・土曜日
		妊娠・出産分野	火曜日
		子育て分野	水・木曜日
	センター利用件数	2, 554件	
		うち結婚分野	2, 121件
	妊娠・出産分野	269件	
	子育て分野	164件	

(2) 「世話やき人」の養成、管理、研修

結婚、妊娠・出産、子育てについて助けを必要とする方々を支援するため、様々な支援をボランティア活動で行う「世話やき人」の養成等を実施いたしました。

事業名	「世話やき人」の養成、管理、研修		
主な内容	世話やき人実人数	83人	
	世話やき人延べ人数	120人	
		うち結婚分野	80人
		妊娠・出産分野	15人
		子育て分野	25人
	世話やき人による成婚数	6組	
	世話やき人研修会	5回実施	
		(郡山市・棚倉町・会津若松市・いわき市・只見町)	
		参加者数	131人
	世話やき人情報交換会	5回実施	
	(郡山市・棚倉町・会津若松市・福島市・いわき市)		

	参加者数 50人 ラジオ、タウン誌等による世話やき人活動状況等の広報 タウン誌 10回 ラジオ放送 39回
--	--

(3) 結婚セミナー・交流イベントの実施

結婚を望む男女等を対象としたセミナーを実施した他、出会いの場を提供するためのイベントを実施いたしました。

事業名	結婚セミナー・出会い交流イベントの実施
主な内容	結婚セミナー 平成28年 8月28日 (会津若松市) 平成28年 9月10日 (郡山市) 平成28年 9月11日 (いわき市) 平成28年10月 8日 (郡山市) 平成28年10月23日 (福島市) 平成28年11月12日 (福島市) 平成28年11月19日 (会津若松市) 平成28年12月18日 (いわき市) 平成29年 1月14日 (福島市) 参加者数 105人
	出会い交流パーティー 平成28年 9月18日 (会津若松市) 平成28年 9月25日 (郡山市) 平成28年10月 2日 (いわき市) 平成28年12月17日 (郡山市) 平成28年11月20日 (会津若松市) 平成28年11月26日 (福島市) 平成28年12月18日 (いわき市) 平成29年 2月11日 (福島市) 参加者数 203人 カップル成立数 39組

(4) ふくしま結婚マッチングシステムの導入について

ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」を平成29年2月に導入し、運用を開始いたしました。

事業名	ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の導入
-----	---------------------------

	運用開始	平成29年2月10日
	入会申込み数（平成29年3月31日現在）	967人
	紹介件数	71組
	お見合い成立件数	5組
	事前登録会の開催	17回
		参加者数 324人

(3) 情報発信・提供

ホームページ等により、「はび福なび」をはじめとする応援センターの業務やイベントに関する情報発信をしたほか、青少年会館2階に専用の「情報コーナー」を設置し、県内における結婚から子育てまでに関する様々な情報（パンフレット、チラシ等）を広く提供いたしました。